

アフリカマンゴノキエキスを主とする複数成分を 含有する健康食品の抗肥満効果について

第43回日本臨床栄養学会総会、第42回日本臨床栄養協会総会、第19回大連合大会にて発表

株式会社ナガセビューティケア(本社 東京都中央区、代表取締役社長 千葉敏英)は、株式会社オルトメディコ(本社:東京都文京区、代表取締役:山本和雄)と共同で、アフリカマンゴノキエキスに加え、海藻ポリフェノール、ローズマリーエキス、サラシアエキス等を配合した食品の8週間継続摂取により、BMIが 25 kg/m^2 以上 30 kg/m^2 未満の健康な成人男女の体脂肪率の減少、腹囲の減少傾向、およびエネルギー摂取量の減少という抗肥満効果の可能性が示されましたので、この研究成果を、第43回日本臨床栄養学会総会、第42回日本臨床栄養協会総会、第19回大連合大会(東京 2021年10月2日-3日)において発表を行いました。

発表タイトル

アフリカマンゴノキエキスを主とする複数成分を含有する健康食品の抗肥満効果

【研究背景】

2019年国民健康・栄養調査結果によるとBMIが25以上の肥満者の割合は、20代以上の男性の33.0%、女性の22.3%が肥満であることがわかります。性別・年代別で見ると、男性は40歳代で39.7%、女性は70歳以上で26.4%と高い割合になっています。肥満は、数多くの疾患のもとになることから、肥満を解消するための対策が重要です。

私たちは、体脂肪率、中性脂肪値、血中脂質、体重等の改善効果が報告されている素材に着目し、アフリカマンゴノキエキスを主とする複数成分を含む食品を開発し、抗肥満効果について検討を行いました。その結果、体脂肪率の減少、腹囲の減少傾向、およびエネルギー摂取量の減少という抗肥満効果の可能性が示されましたため、学会にて発表を行いました。

【学会発表内容】

- 解析対象者 : BMIが 25 kg/m^2 以上 30 kg/m^2 未満の健康な日本人成人男女10名(51.1 ± 10.1歳)
- 試験食品 : アフリカマンゴノキエキス含有食品
- 摂取方法 : 1日3粒 8週間
- 測定方法 : 摂取前、4週間後、8週間後、摂取後に下記測定を実施しました。
1. 体脂肪率
 2. 腹囲
 3. エネルギー摂取量

◆体脂肪率、腹囲の減少

体組成計にて、体重・体脂肪率を測定、腹囲はメジャーを用いて測定した結果、体脂肪率の有意な減少、腹囲の減少傾向が確認されました。

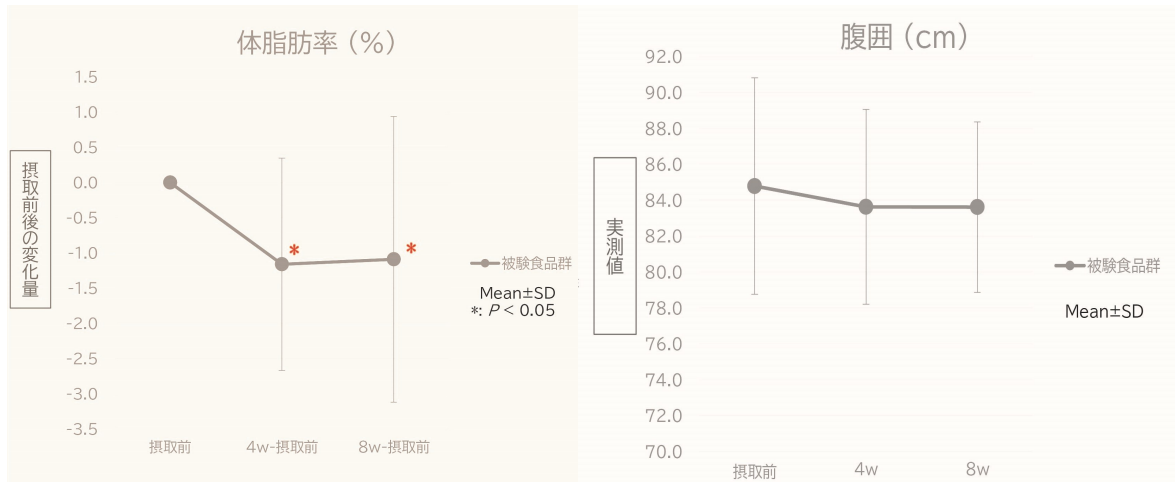


図1 体脂肪率・腹囲の変化量

◆エネルギー摂取量の減少

各検査日の前日における摂取エネルギーと炭水化物量の合計を比較した結果、減少傾向が確認されました。

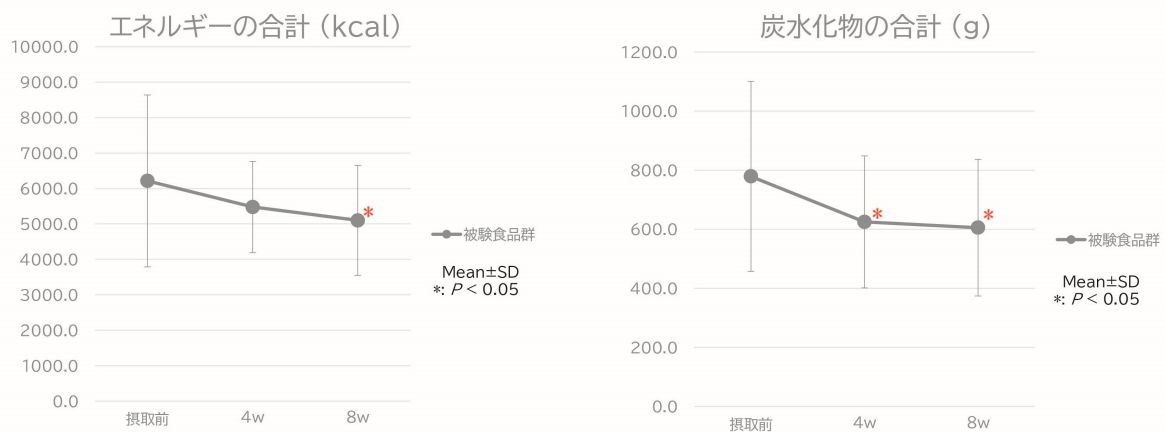


図2 各検査日前日における摂取エネルギーと炭水化物量合計

【まとめ】

今回の検証により、体脂肪率の減少、腹囲の減少傾向、摂取したエネルギーおよび炭水化物量の減少が確認されました。体脂肪率の減少傾向については、アフリカマンゴノキエキスに含まれるエラグ酸の作用が寄与した可能性があります。そしてエネルギー摂取量の減少へはアフリカマンゴノキエキスに含まれるエラグ酸およびサラシアのレプチン低減を介した摂食抑制作用により、エネルギー摂取量の減少が影響した可能性が推察されます。

本結果を今後の製品の付加価値創造に貢献すべく、研究開発を推進してまいります。

<報道関係からのお問い合わせ先>

テレワーク実施に伴い、お問い合わせにつきましては、pr@nagase.co.jp まで

メールにてご連絡をいただきますよう、お願い申し上げます。

株式会社ナガセビューティケア 広報担当 小谷内

HP アドレス <https://nbc.jp>